

人と人との絆 次世代につなぐ協同の輪

Ever Green

7
2017
Vol.281

|特集| 家の光を紐解く





担い手の見本をめざして

果樹生産者 金井豊さん

今月の
目次

第5回フォトコンテスト入選作品

「ひと休み」 西野入孝男



表 賞 特別賞

撮影場所 大岡

講 評 作業中のひと休みの雰囲気がよく出ている作品です。ただ人物が左に寄りすぎているので、もう少し画面中央へ、また、中景の間延びを考えるとより良いでしょう。

目次

Green Spot 人	2
Green Topics JA	
生産者手取り向上へ意見を交換	4
Special Issue 特集	
家の光を紐解く	8
Green Topics 協同	12
Green Topics おたより	14
Green Information 農	16
Green Information JA	18



山の合間から市を眺める金井さん自慢の景色



仕上げ摘果作業をすすめる

収入・経営安定化へ規模拡大

山の合間から長野市街地や山並みを一望できる見晴らしの良い園地でりんごづくりに取り組む金井豊さん。農業大学卒業後、農業関連の仕事をして、「自分でも農業をやりたい」と志し、38歳で就農します。親から継いだ60アールの農地でりんご栽培に取り組みますが、就農初年から台風被害に遭うなど、自然の洗礼を受けます。これをきっかけに、品目構成の見直しによる自然災害被害のリスク分散をはじめ、休耕農地の受託、新品目・技術の導入などで経営規模を拡大し、収入の安定化をめざします。「最初は収入も少なく大変だったよ。樹を植えてもすぐにお金になるわけではないし、3年くらいはアルバイトもして生

計を立てて、とにかくがむしゃらにやる面もあったかな」と当時を振り返ります。5年ほどして経営も軌道に乗り、専業13年目・51歳となった現在、約2ヘクタールの果樹園を経営。忙しい日々を送る中ですが、「やり出した以上は最終的にやって良かったって感じたいよね」とにこやかな表情の中に、“熱意”をのぞかせます。

担い手をサポートへ

昨年、若穂地区に新たに青壮年若穂支部が設立され、若者の農業参画や次世代への技術継承に期待が寄せられる中、金井さんも「希望を持って就農した若い人たちをサポートしたい」と、同支部長やJA営農相談員となり、栽培講習会の開催や担い手との交流を通じて、技術の向上や情報の共有をはかっています。また、生産部会等の役員も経験した中で、「自分から外へ出ていくこと」、「意見を伝えること」の大切さを感じたのだそう。「農業は、自ら考えて行動して外へ出ていくことで、色々な人とつながることができるし、そこから視野も広がるよね。意見も、内容の良い悪いは別にして、口に出さないでいると周りには伝わらないし、周りも力になれない。意見を伝え、仲間と課題を共有することで自分だけでは進まなかったことが進み出すこともあるんだよ」と、担い手たちの積極的な地域産業への活動参加を呼びかけています。

“カッコいい”仕事に

「農業は自然を有効に活用でき、景観をキレイに保つことができる」ことが魅力だと語る金井さん。この自然環境を維持するためにも、また、担い手も徐々に増え、興味が農業に向いてきている今、「農業はきちんと儲かること、他産業に比べても決して劣ることのないことを示していきたい」と改めて決意し、自ら農業経営の見本となるべく、日々の作業はもちろんのこと、農業を取り巻く様々な活動に努めます。「やっぱり地域の子もたちに“農業をやりたい”って思ってもらえる、そんな“カッコいい”仕事にしていきたいよね」…そう話す金井さんの瞳には、「維持し続けたい」という豊かな自然と、農業への希望が映し出されています。

プロフィール

名前	……金井豊さん
年齢	……51歳
営農地域	……若穂管内
栽培品目 (経営規模)	……りんご(1.5ヘクタール)、 もも(35アール)、 ブルーベリー(10アール)
農業従事者	……本人、季節アルバイト
主な販売先	……JA共進所、個人販売

生産者手取り向上へ意見を交換



生産者手取り向上へ意思統一をはかる会場

果樹4部会(りんご・もも・みかん・新興果樹)から構成する果実専門委員会は6月6日、梅ノ井のグリーンパレスで「果実販売推進大会」を開きました。29年度果実販売目標35億円の必達へ、生産者・JAの「産地」と、「重点取引市場」間の情報交換・共有による販売拡大を目的として、総勢98人が出席。全体会議と6分科会議を通して、活発に意見を交換し、生産意欲向上と連携拡大につなげました。

全体会議では、JAが果実の生育状況、販売目標額、品目ごとの重点取組事項についてを説明。「生産者手取り向上を前提とした販売戦略で、売り場確保・定着とともに、これによる有利販売につなげる」と表明し、市場に協力を求めました。市場からは、「話懸性ひとつで販売状況が変わるので、産地からの情報発信にも注力しながら、販売をすすめて欲しい」と要望を受けました。

JAの塚田専務は、「高齢化の中でも継続できる農業をめざして生産者・JAで知恵を出し合いながら取り組み、JAとして、生産者のバックアップをはかりたい」と支援を約束しました。

「あんず」出荷始まる



選果作業をすすめる従業員



出荷上の注意点を確認する生産者

新興果樹部会杏・梅専門部で「あんず」の出荷が6月21日から始まりました。高温により生育がすすんでいた昨年に比べ、10日程度遅いスタート。凍害や雹害による収量への影響も懸念される中、JAでは、生産者手取り確保へ雹害果に対応する特別出荷規格を設けて販売をすすめる。30,000ケース(1ケース12.8kg)の出荷をめざします。

同専門部は、出荷を前に、松代農業総合センターで18日、「あんず生産者大会」を開き49人が出席しました。県内市場が他産地の状況や市場情勢をつなぎ、JA営農技術員が出荷規格などを説明。出席者は、適熟収穫と出荷規格に沿った選果を確認しました。

「施設果菜」出荷最盛期を迎える



出荷時の色味を確認する生産者

野菜部会施設果菜専門部で6月上旬から、「トマト」「キュウリ」の出荷が最盛期を迎えています。

これにあわせ6月5日、松代町の道島集荷所で出荷講習会を開催。生産者16人と県内市場が出席し、品質の統一と出荷意欲のさらなる向上をはかりました。市場は、「グリーン長野産は評価の声が寄せられている」と話し、引き続き出荷規格に沿った農作物の出荷を要請。渡辺英雄専門部長は、「経験のある熟練者が多い中、より良いものをめざして出荷して欲しい」とあいさつしました。

品質良い「トルコギキョウ」出荷へ

花き部会トルコギキョウ専門部は、篠ノ井の東部青果物流通センターで6月15日、部会の主力品目「トルコギキョウ」の目揃会を行いました。生産者14人が出席し、営農技術員から販売情勢、出荷規格など説明を受けました。大阪・名古屋・東京へと出荷し、安定単価を維持している現状をふまえ、出席者は改めて選別に注意して出荷することを確認。島田武専門部長は、「グリーン長野のトルコギキョウはどれを買っても品質が良いと評価されるよう選別時によく吟味して出荷をすすめよう」と呼びかけました。

「タマネギ」出荷規格を確認

野菜部会タマネギ専門部は、松代町2会場で6月8日、「タマネギ」の目揃会と販売推進会議を開き、生産者40人と県内市場らが出席しました。目揃会では、根菜類のコンテナを活用して経費削減につなげる「加工用」の出荷方法や、「生食用」として2等級6階級に丁寧に選別し、単価確保につなげることなど、生産者手取り向上への方策を確認。伝田文和専門部長は、「生産者の努力をぜひ価格に反映していただきたい」と市場に要望し、「良品出荷に向けて頑張ろう」と仲間を激励しました。



草姿や開花輪数など選別の注意点を確認する生産者



営農技術員から説明を受ける生産者

高校生に教わり農作業に励む



高校生に教わり大豆をまく子どもたち



高校生力作紙芝居で学習

「モチ」苗を手植えしました。田植え初挑戦の子どもは「お姉さんに教わったらうまく植えることができた」と喜んでいました。

24日には篠ノ井のは場で大豆をまき、冬に予定する豆腐づくりが無事に行えるよう農作業を祈りながら水やりをしました。

J Aが更級農業高校と共催する食農教育活動「親子ふれあい農業塾」を6月中、2回に渡って開きました。10日は、NPO法人風とみどりの会の協力で準備された川中島町の水田で田植えに挑戦。高校生力作の紙芝居で田植えの方法を学んだ後、子どもたち裸足で田に入り、もち米「モリモリモチ」苗を手植えしました。田植え初挑戦の子どもは「お姉さんに教わったらうまく植えることができた」と喜んでいました。

きのこに親しみ感じて

J AとJ A全農長野は5月末から10月にかけて、長野市内の6カ所の保育園で、「きのこ教室」を開いています。園児に同J A産のきのこに親しみを感じてもらうことを目的としています。

このうち、青木島の丹波島保育園では6月19日に開催し、J A職員がきのこ博士となり出題する「きのこクイズ」に園児全員で挑戦。また、年長の園児は、「えのきたけ」と「ぶなしめじ」のもぎ取りを体験しました。園児は、「たくさんきのこを食べたい」「きのこが好きになった」と喜んでいました。



きのこ博士の問題に元気よく回答する園児

収穫体験楽しんで

J AとA・コープファーマーズ南長野店は6月17日、地域住民や子どもたちに農業の楽しさを知ってもらおうと、「タマネギ」の収穫体験会を開きました。会場は、J A子会社（株）ジェイエイグリーンが同店舗近くで管理するほ場。A・コープ店で参加募集し、当日、参加者全員で約130kgのタマネギを収穫しました。孫と一緒に参加した女性は、「孫に体験させようと思って参加したが、誰よりも自分が楽しんで収穫できた」と話し、作業に汗を流していました。



タマネギの掘り取りをすすめる参加者

夏野菜の収穫につなげて

定年帰農者、新規就農者らを対象にした「グリーン農業講座」を6月10日、篠ノ井のほ場2カ所で開き、受講生70人が参加しました。受講生は、営農技術員から、収量・品質向上へ夏野菜の管理方法を中心に説明を受けながら、実際に作物の生育状況を目で見て確認し、学びを深めました。受講生の一人は、「昨年は自己流で栽培したためか、収穫に結び付かなかったので、ぜひ今日聞いたことを生かし収穫につなげたい」と意気込んでいました。



仕立て方を説明を受ける受講生



生産者(中央)に習い作業をすすめるJA職員

実習通じ農業理解を

JA新入職員16人は6月中の3日間、農業実習を行いました。農作業を通じ、農業へ対する理解を深めるとともに、JA職員としての心構えを学び、業務に生かすことを目的としています。このうち、篠ノ井支所の高遠担当と西村担当は、篠ノ井東福寺の北村政一さんのぶどう園で「シャインマスカット」の房切りに挑戦。二人は、北村さんの指導のもと、真剣なまなざしで作業をすすめたほか、休憩時には生産者との会話に華を咲かせ、交流を深めました。

アンパンマンと交通安全学ぶ

JAは、稲里町のグリーンホールミナミで6月10日、「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」を開きました。JAの「こども共済」にご加入いただいた2歳から5歳の子を持つ契約者とその子を対象に82会員282人が参加。アンパンマンたちと一緒に、横断歩道の渡り方などの交通ルールを歌やダンスに合わせて学びました。子どもたちは、アンパンマンの「交通ルールを守ろうね」という呼びかけに「ハイ」と大きな声で答えていました。



一緒に踊って交通ルール学ぶ子どもたち

©やせたとかし/フレール館・TMS・NTV

歩いて健康増進をはかる

組合員の健康維持・増進を目的に25年度から毎年開く「組合員健康企画」が、今年度もスタートしました。初回は6月15日に黒姫高原で「ルディックウォーキング」を行い、13人が高原を散策。参加者の一人は、「心待ちにしていたので、参加できうれしい。心身のリフレッシュになった」と話しました。



青空の下、高原を歩く参加者

ご利用に感謝伝える

JAは年金支給日にあわせ6月15日、「ご来店感謝デー」を開きました。全支所合わせて先着千人に自慢の農産物を贈呈し、日頃かちのご利用に感謝を伝えました。



農産物を贈呈する職員

感謝を伝えました。

家の光を紐解く

102万人が読む! 「家の光」

農村とともに…創刊92年!

“農村向けの総合家庭雑誌”として、大正14年(1925年)に創刊されました。当時の定価は“20銭”。当時の物価からすると20銭は白米645g分(茶碗4杯半)程度。仲間で1冊を回し読みすることもあったそうです。

創刊号の表紙▶



“協同のこころを家庭で育む”がテーマ

創刊から「食と農」「暮らし」「協同」「家族」を大切に作り続けられており、家族みんなで楽しむことができ、役に立つ雑誌であり続けています。当時は「農村向け」でしたが、現在は、農家はもちろんのこと、農家でなくても役立つ情報が満載です。

家の光のテーマは変わることなく**コチラ**に示しています。



▲目次ページに注目

実売は日本一!!

家の光は、月刊雑誌(総合誌・女性誌)の部門で部数519,733部を誇り、全国で1位*と熱い支持を獲得しています。当JA地域内では1,242部(6月末現在)のご購読をいただいています。



全国1位の
販売部数

※月刊雑誌(総合・女性)の販売部数(JA調べ)

おなまえ欄は活用の歴史! 総読者数はなんと102万人!*

家の光の裏表紙には**おなまえ欄**があります。

これは、かつて農村部で回し読みされていた頃につくられた欄で、雑誌には珍しい特徴です。

家の光は「活用ありき」で作られていることから、仲間を持ち寄ったときにだれのものか分かるように、現在も欄を残しています。こうして読まれ活用されてきている家の光の総読者数は102万人にもなると言われます。

※一般社団法人日本雑誌協会(JMFA)
印刷部数(2017.1~2017.3)
女性>ライフカルチャー>生活実用情報誌>ハウスホールド全報より



身近な地域情報版があります

より地域に近い情報をお伝えするため、家の光は3つのエリアに分け記事を差し替え、「地域密着情報」をお伝えしています。

当JAには
東日本版が
配布されています



書店には置いていない!?

JAで買えます

「家の光を書店で見かけたことが無い」というお声が寄せられます。家の光は、書店では販売されていません。これは、当時農村向けの雑誌であったこと、また、忙しい農家のために、JA職員が一軒一軒回って配布するという販売が浸透したためです。現在でも家の光を買うことができるのはJAのみ。JA職員が個別にお届けにあがっており、書店に行く手間が省けます。



▲家の光を手渡す職員

「家の光」という雑誌ご存知ですか?
これは、料理や手芸、健康、介護、家庭園芸、そして時事問題などさまざまな情報が満載の月刊誌です。
今回の特集は、そんなオトクで役立つ「家の光」を紐解きます!

教えて!編集長さん!

家の光の編集長岩澤信之さんに、誌面のポイントと編集長イチオシ情報を伺いました!

岩澤編集長とピツカリン

キホン情報

誌面内容は、時期折々のテーマや、農業・農村をとりまく情勢など、幅広い分野から情報収集し、読者の意見も反映させながら、内容を厳選し、年間計画を立て、徹底した取材のもとで1冊を仕上げ、お届けしています。
家の光制作には、編集部員21人が、4つのグループ(取材3グループ、整理・校閲)に分かれて、制作をすすめています。

編集部員ほか、取材先・JA・読者など...多くの方の協力があって、1冊ができています。



読者にも好評いただいています!

編集長イチオシ記事情報

食
[料理]

家にあるもので即実践!
活用される機会の多い「料理」記事!
編集部員は次の点にこだわって編集しています。

- 国産は当たり前! 国産材料を中心にした材料を中心に
- 各家庭にあるもので! 調味料・調理器具は一般的なものを活用
- 主婦に分かりやすく! 材料は分量をグラム表記に
- 忙しい読者にピッタリ! 30分以内が調理時間の目安



料理記事では、読者アンケートを定期的に行い、「7割以上の方」の自宅にある調味料や調理器具のみを使用するので、手軽に実践できます。ちなみに、男性の編集部員も料理記事を担当していますので、男性も挑戦しやすいレシピですよ。

くらし
[手芸]

短時間でかんたんに!
農家も農家以外の方も実践しやすい手芸記事は、どなたでもつくることができるよう編集部でも試作を重ね、「わかりやすく」を心がけて記事にしています。また、仲間同士で教え合っ、楽しく過ごしてもらえよう気持ちを込めて誌面をつくっています。

- サクッとできる! 60分以内に完成できる
- まるでプロがつくったみたい! 見栄えがする
- 家にあるもので挑戦! 手軽な材料でできる



東日本大震災を受け、福島的女性部の方による「防災頭巾」の作り方を掲載したところ、それが熊本の震災時に活用いただいたという事例がありました。さらにアレンジを加えて掲載をした記事も好評をいただきました。

▲編集部で試作された作品

農業

さらに農業を充実!
初挑戦の方にも!

現在農業をされている方に向けては、農作業をより充実させる技術や知恵を実用的に紹介しています。また、家庭菜園初挑戦の方に向けて、初心者向けの農作業情報を掲載しています。

協同
[農産・経営]

やわらかく分かりやすく共感!



かたくなりがちな内容も、みなさんに興味を持っていただけるように、インタビューや漫画、クイズなどで掲載しています。

家の光を通じた“つながり”大切に~グリーン長野地域のみなさんへ~

お料理や手芸など、一見ほかの雑誌と同じように見えるかもしれませんが、農家のみなさんやその地域にくらすみなさんにあわせて誌面をつくっていますので、みなさんにピッタリの「家の光ならではの」記事を楽しんでいただけます。また何より、「家の光」を通じて、お仲間・読者間でつな

がりを持っていただけることを最大の特徴として、みなさんに活用していただけるようにと、編集をしています。これからも、みなさんで楽しんでいただけるよう、ますます誌面充実をはかってお届けしてまいりますので、どうぞ「家の光」をご購読ください。

読者に聞く!家の光オススメポイント

家の光読者のみなさんに活用術やオススメ記事を伺いました!

誌面を農業にいかして

佐藤しづ子さん(71)は、夫の仕事が縁で家の光を購読するようになりました。勤めに出ていた頃は「バラバラめくっていた程度」だったそうですが、退職して農業を始め、さらに女性部活動にも参加するようになってから、「興味を持つようになった」といいます。

佐藤さんが楽しみにしているのは、「料理記事」と「特集記事」。農産物にまつわる他産地の情報が詳しく掲載されており、「知らなかったことを知る機会になっています」と話します。

同誌2017年2月号では、佐藤さんが、夫と栽培している「アピオス(ほども)」について他産地の取り組み記事が載り、「とっても参考になりました」と笑顔。誌面に付せんをつけて保管し、読み返しては栽培の参考にしているそうです。

「フレッシュミズの活動記事、女性部活動の記事も読んで参考にしています。若い方にも入っていただけるような活動につなげたいです」と新たな活用へと期待を膨らませます。



佐藤しづ子さん(71)

小島田町
農業・主婦

▲佐藤さんが付せんをつけて残している誌面



吉澤三枝子さん(68)

川中島町御厨
農業・主婦



▲数あるレシピから
つくりやすいものを厳選

仲間づくりのきっかけに

「私よりもしっかり読んでいる方はたくさんいらっしゃると思うけど…」と話すのは吉澤三枝子さん。JAの女性部に入ったことをきっかけに購読をはじめました。

女性部役員となった際、地区の仲間と家の光を活用した料理教室を公民館で開きますが、会場には限られた調理器具しかありません。その中で、家の光に掲載される数あるレシピの中から、工夫して献立を考えること、そしてそれを仲間とともに活用できることが「とても楽しいよ」と笑顔を見せます。

「家で活用することも良いわね。ただ、私にとって、家の光やお料理はあくまでも地区みなさんとの“つながり”のきっかけの一つになっているの。みなさん、それぞれに悩んだりつらい思いをすることもあると思うけれど、そんな時にこそ、このきっかけを通じて集まって、“みんなで楽しく一緒に頑張っていこうよ”って声をかけ、助け合えれば嬉しいわ」との想いを抱き、家の光や女性部を通じた仲間との交流を大切にしています。

農家でなくても楽しめる

富田則子さんは、非農家で農業や女性部とは疎遠でしたが、地区の仲間に誘われて女性部に加入し、これをきっかけに家の光も購読するようになりました。

もともと「手芸が好き」という富田さんは、手芸ページを活用しています。とくに、数年前に掲載された「手ぬぐい」枚でつくれる帽子は、何枚もつくって家族や友人にプレゼントし、「とても喜んでもらえた」といいます。

このほか、「料理ページは切り取って保管しておくとい勝手がいい」という女性部仲間のアドバイスをもとに「つぶり」をつくって気になった時に活用。また、読みものの美輪明宏さんのコラムなども楽しみにしているそうです。「農業をやっていない方でも十分楽しめますし、若い方も活用できると思いますよ」と富田さんは、ほほ笑みます。



富田則子さん(67)

篠ノ井小森
自営業・主婦

▲つぶってまとめたレシピ集と力作帽子

JAでも使っています！楽しんでいきます！



▲夏にピッタリくまモンうちわづくりに挑戦 ▲レシピを見ながら「おせちづくり」

JA女性カレッジとは

家の光を教科書に、JA 地域にお住まいの幅広い世代の女性たちが一人ではなかなか挑戦できない「女性ならだれもがやってみたいこと♡」に取り組んでいます。

大募集！ JA女性カレッジでは、新規受講生を募集しています！
詳しくは当誌折込チラシをご覧ください。
みなさんのご参加をお待ちしています。

JA女性カレッジ

JA女性カレッジでは、家の光を教科書にして、「女性ならだれもがやってみたいことに挑戦」をテーマに、学習・体験活動を月に1回行っています。

夏には、家の光の資材と誌面を活用し、「くまモンうちわ」をみんなでつくりました。冬には、「家の光オリジナルおせち」をみんなで作り、家庭で実践できるおせち料理を学びました。

カレッジ生には非農家の女性も多く、「発刊されている事を初めて知った」「参考になる記事がたくさんあって楽しいわ」などのお声も上がっています。

JA女性部 家の光料理教室

女性部では地区・支部・総支部ごとに家の光を使った料理教室を開いています。

教室では、家の光レシピから3品以上を選んで作り、その場で試食会を行って、家庭で実践する際に注意することや、さらなるアレンジ法も考えるなど、活用を通して、料理や仲間との交流を楽しんでいます。料理教室を開くと、記念として使って便利な調理小物等をもらうことができ、いっそう料理を楽しめます。

「忙しい時期には、なかなか読むことができないけれど、こういった機会にみなさんとつくることができれば、せっかく購入した本も活用できる」「家でも手が空いたときに読んで料理のレパートリーを増やしたいわ」とこんなお声が寄せられます。



JA女性部とは

JAをよりどころに、地域にお住まいの女性がイキイキと活動する組織です。学習や料理、手芸等で家の光を活用しています。

年間購読は1冊分安い!! 読むなら

オトクな年間購読受付は
7月28日(金)まで

家の光は、単月でもお求めいただけますが、**年間購読**をしていただくと、**なんと617円**(1冊分)オトクにご購入いただけます！
家計を預かる女性にはとっても嬉しい！
ぜひ年間購読して、家計の支出を抑えつつ、楽しみを増やしませんか？

月号	定価(税込)
普通号(2・3・6・8・10・11月号)	617円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	906円
付録月号(家計簿付き 12月号)	1,008円
年間購読(9月号～翌7月号)	9,240円

家計簿付き12月号はとくに評判!

毎年12月号には「家の光家計簿」が付録として付いています。家計簿記帳はもちろん、日記、ライフプラン、生産履歴記帳ができ、かつ、「簡単・便利」と大・大・大好評です!



年間購読の受付は…各支所窓口または生活部生活福祉課 TEL293-2061

JAは組合員・地域のみなさまと協同の

わ

をつなぎます

青壮年部

女性部

青壮年部と女性部が協力！「パルセイロ農園」スタート



農作業体験を記念して集合写真撮影

JAは、サッカーJリーグ3部で活躍するAC長野パルセイロと協力し、「みんなでつくろう！パルセイロ農園」を6月10日にスタートさせました。企画は、同チームサポーターズクラブジュニア会員で小学生以下の子どもとその保護者らを対象に、今年度4回の開催を予定。青壮年部、チーム、JA職員そして女性部員も参加して、農作業体験や食事会を通じ、次世代への農業・農産物のPR、地域貢献とともにJA事業のPRにつなげます。

初回は6月10日に篠ノ井のほ場や水田を会場に開催。親子15組、パルセイロレディースチームの野口美也選手と濱垣香菜選手、トップチームの大橋良隆元選手が参加し、青壮年部の指導で、タマネギの収穫体験と田植えを体験しました。また、女性部が下ごしらえをした新鮮野菜や収穫したばかりのタマネギを楽しむ「地産地消パーベキュー」も開催。おいしい食事に舌鼓を打ちながら、農業や食への理解を深めました。青壮年部塚本勇部長は、「農業経験の少ない子どもたちにぜひ農業の良さを知って貰えるように、活動をすすめていきたい」と話していました。



野菜バイキングの盛りつけを手伝う女性部員

郷土料理を伝授

女性部若穂総支部は、若穂地区の長野市立川田小学校と保科小学校のクラブ活動の場で、年間を通して「郷土料理」を指導しています。

このうち、川田小学校で6月15日、初回のクラブ活動が行われ、同総支部の松澤淑井さんと小林早苗さんが講師として参加。郷土料理クラブの児童17人に「えのき入りニラせんべい」の作り方を教えました。講師の2人は、調理手順を説明したのち、生地を混ぜたり、フライパンで焼く作業を補助。初めてニラせんべいをつくった児童は、「家でもお母さんとおくってみたい」「他の料理を教わるのが楽しみ」と話していました。



児童をサポートする講師2人(川田小学校)

Hello! グリーンコネクト

グリーンコネクト協定先3JAから
キラリと光る話題をお届けします!

鹿児島

年金支給日お茶接待に
男性も参加



エプロン姿で接待した2人

グリーン鹿児島西谷山支店で6月15日、助け合い組織みどりの会西谷山支部のメンバーが年金支給日に合わせてお茶接待を行い、来店者にお茶と手作りのふくれ菓子振る舞いました。

今回は、同支部の年金友の会の松元会長と尾辻副会長が初めてのお茶接待にエプロン姿で参加。2人は、お茶とお菓子を手渡しながら「お茶をどうぞ。手作りのふくれ菓子美味しいですよ」と笑顔で対応し、店舗内には賑やかな声が響き渡っていました。

来店者は「会長さんたちのエプロン姿もいいですね。いつも以上にお茶が美味しく感じます」と笑顔で話し、会話を楽しんでいました。

近江

自己改革NEWS創刊
役職員向け毎月発行



創刊号の自己改革NEWS

グリーン近江改革推進室は4月25日、役職員向けに「自己改革NEWS」を創刊しました。自己改革の取り組み内容について情報を発信し、役職員が正しい知識と理解を深めるとともに、改革に向けて意識統一が目的です。

創刊号では、「JAの事業運営原則」「JAの理事構成」「准組合員の利用規制のあり方」「JAの監査」の4つのポイントを紹介。また、准組合員の事業利用を規制された場合に起こり得る事態の予測や、政府による「農協改革」と、JAが自ら進める「自己改革」の違いなどを掲載しました。

今年の秋頃からは、組合員向け広報誌にも「JA自己改革」のコーナーを設ける予定です。

大阪

オカワカメを東大阪の
特産品に!



野田市長(右)と小林組合長(左)

グリーン大阪小林組合長は6月15日、「オカワカメ」の特産品化に向けて、東大阪の野田市長と面談しました。

小林組合長は、「オカワカメは、簡単に栽培・調理でき、マグネシウムやカルシウムなどミネラルを豊富に含む健康野菜です。無農薬で栽培でき、6月～10月頃まで収穫できます」とアピールしました。野田市長は、「『東大阪のオカワカメ』として、市の広報などを通じて、PRしていきます。また、市内の女子大学へ『オカワカメ』のレシピ開発などを要請していきたい」と話しました。オカワカメは、ツルムラサキ科のつる性多年草、ワカメのような食感が特徴の健康野菜。農産物直売所「フレッシュ・クラブ」や支店の朝市にて、オカワカメの本格販売を開始しています。

女性部

米づくりを指導

女性部川中島総支部役員とJAは、川中島町の長野市立昭和小学校5年生の米づくりを毎年サポートしています。今年は平年より10日ほど早い5月29日に、同校近くの水田で田植えを行いました。



手植えのコツを指導する女性部員

女性部

畑に活用する肥料をつくる

女性部更北総支部は、真島町のフルーツセンターで5月30日、「ぼかし肥料づくり」を行いました。部員20人が参加して、米ぬかにEM菌(有用微生物群)と糖蜜を混ぜたぬるま湯を加えて手で混ぜ込み、約230kgのぼかし肥料を完成させました。



力を入れて米ぬかを混ぜる女性部員

女性カレッジ

精進料理に触れる

JA女性カレッジは6月28日、「精進料理で健康増進」を目的にカレッジ生40人が参加し、長野市善光寺見学や宿坊で精進料理を味わいながら、知見を広げました。



精進料理の特徴を学ぶカレッジ生

相談

ボイス クローズアップ

JAに寄せられたお声にお答えします!

**JA自己改革の目的は?どんなことをしているの?**

回答

組合員の力を結集して、日本の豊かな“食と農、地域”を次世代につなげるための取り組みをすすめることを目的としています。

JAは、「食と農を基軸とした、地域根差した協同組合」として、地域農業の発展と組合員・地域住民のより良い暮らしを実現するためにさまざまな事業活動を行ってきました。

「JAの自己改革」は、従来の事業活動を、農業者や地域住民の夢や願いを改めて織り交ぜ、農業のさらなる成長と地域を盛り上げていくものです。

29年度、当JAでは、「農業所得の増大と地域社会への貢献」を方針に掲げ、

農業所得の増大に向けた取り組み

- ・補助事業等の活用 ・出向く営農指導(栽培講習会) ・重点市場集約 ・消費宣伝活動
- ・商品企画(頒布会、JAブランド品) ・農業開発事業利用による生産資材供給
- ・農業関係資金対応強化 等

地域社会への貢献に向けた取り組み

- ・中山間地のライフライン確保と買い物支援 ・組合員組織と連携した食農教育の実施
- ・くらしの充実に向けた商品提案・地域性にあわせた協同活動の実施
- ・JAイベント「グリーンフェスティバル」開催 等

などを盛り込み、具体的な計画・数値目標を策定し、計画の着実な実践によるJA自己改革の実現に向けて取り組んでおります。

みなさまのお声につきましては、おたよりコーナーでも伺っておりますので、ぜひお寄せください。

講話

グリーンカフェ クローズアップ

グリーンカフェではJA厚生連病院の健康講話を月1回開催しています。

【認知症ケア】

講師:南長野医療センター 藤ノ井総合病院 認知症ケア認定看護師

認知症の患者さんは、介助者(家族)から、言われた「内容」を忘れてしまうことがあります。しかし、「強い口調だった」「怖かった」などの「不快な感情」は心に残りやすく、「怖い人のそばにはいたくない」などの気持ちから、徘徊など新たな症状につながる場合があります。介助者は、つい感情的になりがちですが、ひと呼吸おき、声の調子やタイミング、場を変えるなど「伝え方」に配慮しましょう。

**今月のポイント****認知症の家族への対応は心の余裕を持って寄り添おう**

認知症の介護は長期に渡ることも多く、介助者(家族)は、適宜リフレッシュして自分の心もケアしながら寄り添うことが大切です。

グリーンカフェ
—今月の催し—

場 所	コミュニティプラザ川中島 (JA川中島支所内)
開設日	毎週火曜日
時 間	10時~11時 企画タイム 11時~12時 カフェタイム
対象者	65才以上 参加費 100円
申込み	直接会場にお越しください

【企画タイムの内容】

7月 11日	楽しい書道
18日	熱中症予防について
25日	川中島の昔話をしよう
8月 1日	ラベンダーの香り袋づくり
8日	盆踊りに挑戦

お問い合わせ 福祉相談センター tel.215-6088

ぶんげいらん

交流 おたより

エバーグリーン読者のみなさまのお声を紹介します

エバーグリーン6月号「謎トクロスワード」パズルの「タテのカギ」につきまして、校正不備がございました。騒んでお詫び申し上げます。

毎月楽しく読んでいます。一番好きなページは地産地消ページ。「ソラマメの肉みそ炒め」今度つくってみようと思います。
(信更 久保田さん)
●ぜひレパートリーに加えてみてくださいね!

無事田植えができました。年々体力も落ちてきているので来年はできるのかなと心配になりますが、まわりの人たちと助け合いながらもう少し頑張っていきたいと思っています。(篠ノ井 フラミンゴさん)
●もう少しとおっしゃらず…何年も頑張っていたできるように、応援しております! 体力アップに土用丑の日にはA・コープ店のうなぎはいかがでしょう?

米づくり責任者として2年目。「米づくりのワンポイント」の企画は本当にありがたいです。(川中島 宮本さん)
●責任が果たせるよう、誌面を通じてお手伝いさせていただければ嬉しいです。

クロスワードの解答欄が合わずに苦勞しましたが、何とか答えができました。ミスプリも速をひねることで、大変勉強になりました。(青木島 川島さん)
●ご迷惑をお掛けし、申し訳ございません。館内きにとらえていただき、感謝です。

6月号りんごづくりのワンポイントで、毎年おいしいりんごをどのように摘果作業しているのかしらと、いつも思っていました。良いりんごにするには、何回も見直して大変な作業だなと…生産者のみなさまに謎が下がります。(?? 伊藤さん)
●ぜひりんご栽培に挑戦いただけるような誌面に…と制作しておりますが、この誌面から消費者の方の感想もいただけたこと、とても嬉しく思います。生産者さんのおいしいりんご、待ち遠しいですね。

筑れた畑を耕して、野菜や花を植え作っていますが、肥料不足か土が良くないのか、作物がなかなか大きくなりません。また、アリの大群がたかさんいてこれも大変。アブラムシのせいでしょね。週休してもやってきて、困っております。(篠ノ井 中村さん)
●農作業のお困り事は、ぜひJA営業部(Ta.292-0930)やお近くの営業員センターに在の営業技術員にご相談ください。

お土産の戸隠新そばは味わって若き日は奥社まで競争した日をおもう
小島田 高野 茂子
電機の見廻り機とぐち言えば九十なかばの翁は誰ぞと
下平 番場 道仁
花みづき雨にあおられ散りはてるタイルの上に駒の如しに
上布庵 穂苺 勲子
待ち待てどうぐいすも来ず夏となりさつまいも植える頃に郭公が鳴く
小島田 松井 信子
今日も無事終り祈り終えんと御観音様導く御健やかであれかし
小島田 宮林 紀子
開花する月光あびしまつよい草空涼ひんやり西風吹きて
大岡 市河 麗子
月変わりショウブ節句風呂に入れ身体きよめへびのまよふに
大岡 久保田けさみ

散歩する公園に咲く赤つづじ満開になり我を迎へる
小島田 斎藤 由明
新聞の記事所出し吾母めば夫顔まで聞く小さな幸せ
小島田 清水 威子
ローカル線言葉のかけら拾う旅
今井 高橋 清人
草いきれ赤き鉄道の車輪止め
青木島 塚田 敏明
八十路過ぎ老老介護吾が身にも
西条 智教
祖母涙孫から貰うプレゼント
唐白 五十嵐立男
美しく老いた心心の化粧する
内堀 内山 克子
庭つゝじ満開に笑顔かな
真島 大久保廣道
南天や少し満開あり夫婦著
高野 加藤 公男
新緑や山鳩を呼ぶ春雨上がり
大岡 久保田立祐
夢中になれる我武者羅という若さ
原 小林 伸江

- 投稿者の個人情報は適切に管理し、JAだよりの文芸掲載に利用させていただきます。
- 応募は「1人1作品」でお願いたします。
- 作品はご本名にて掲載いたします。
- 宛先 〒388-8511 長野市篠ノ井布野高田961-2 JAグリーン長野 ぶんげいらん係 ●応募締切:7月20日(木)

謎トクロスワード

クロスワードの正解者の中から抽選で5名の方にJAまごころ商品券をプレゼント!



元月号の答え	ニ	チ	ミ	ウ	ビ	ヒ
A	ラ	キ	カ	マ	シ	ヤ
B	ツ	テ	イ	キ	ア	ツ
C	キ	シ	ソ	エ	マ	フ
D	ヨ	ツ	ウ	カ	ト	イ
E	ウ	ブ	サ	ラ	ウ	ドン

5月号の当選者
 太田今朝男さん 藤嶋敏文さん
 富岡優子さん 岡田久枝さん
 古越福子さん (応募総数52名)

ヨコのカギ

- 夕涼みや花火大会に似合う着物
- サナギからチョウに○○した
- 物事を行うのにちょうど良い頃合い
- 馬の背に置きます
- 絵柄の美しい○○○切手を買った
- わらなどを編んで作る動物
- ナタネやゴマなどを搾ると取れます
- 原本からコピーした物のこと
- キツツキが木に穴を開けるときに使う物
- 世話人に頼む、音ながらの書活
- キープ、ペット○○○
- 東南アジアの国、首都はバンコク
- 革靴や家具を磨いて出すこと

タテのカギ

- 鴨ご飯のこと
- チョコレート原料になる植物
- ビー玉を押し込んでから飲みます
- コンコンとノックする物
- 鉛筆を削って出します
- 泳げない人の強い味方
- ハチドリやチョウが吸います
- 電話では○○が明かない。余って話そう
- 今日が終わるとやめて来ます
- 野球の打者が振ります
- 頭文字のこと。佐藤さんならSです

※レイアウトの都合上、回答欄が小さく、ご不便をおかけしております。何とぞ御容赦いただきますようお願い申し上げます。

応募ハガキの記入方法

※応募に際して記入いただいた個人情報、本誌編集および当選商品発送以外には使用しません。●応募締切:7月31日(月)

388-8511
 長野市篠ノ井布野高田961-2
 JAグリーン長野
 編集部
 〒388-8511
 62

①クイズの答え
 ②氏名(ペンネーム)
 〒住所
 年齢
 性別
 電話番号
 ③JA・店舗へのご連絡ご希望の日頃のことなど、ご都合にご記入ください(はたはローナーに譲渡させていただきます) 電話番号が知りたい

りんごづくりのワンポイント

7月

今月は夏季管理についてお伝えします

まずは、被害に遭われた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被害に遭ったりんごは、その後の生産者の管理と果実の持つ治癒力で、販売が可能です。被害の中でも程度の軽い果実を来年の樹勢対策も含め着果させましょう。摘果に限らず、防除や出荷の手間も普通の年よりかかってしまいますが、こういう時にプロのテクニックの見せ所です。



今月の担当
青森フルーツセンター 所長 佐藤 直樹

実践① 見直し摘果

- ・「サンふじ」は見直し摘果作業を行い、品質の向上をはかる。
- ・果実を落とす時に下の果実にあたって傷がつかないように配慮し落とす。

実践② 鳥害対策

- ・鳥は賢く、しつこく、行動範囲が広い上、感覚が人間に似ていると言われ厄介。鳥害対策資材は安価なものから大掛かりなものまで数多くあるが、収穫間近の早生種は、テグスや網で対策をとる。
- ・獣は種で囲み、侵入を防ぐ手立てをとる。



JA ファーム店・営農資材センターにて販売しています。お問い合わせください。

実践③ 支柱立て・枝吊り

- ・支柱や枝吊りを行うことで枝の格好がとれる。園内の風通しと明るさを確保し、薬剤散布の死角など支障が出ないように行う。
- ・この作業と摘果は日焼けに注意し、午後一番に行うと良い。

実践④ 徒長枝の管理

- ・徒長枝は、防除前に整理する。ただしこの時期は、果実や主枝上部への日焼けの影響があるため、弱い枝は残し、葉摘みで対応する。
- ・主枝上部に徒長枝が無い場合、緊急手段としてダンボールなどをかぶせ、日焼けから主枝を守ることが必要。風が強い日は、危険が伴うため、高所での作業は避ける。

実践⑤ かん水・草刈り

- ・かん水は定期的に行う。10 アールにつき、かん水量は20ミリ…つまりスピードスプレーヤー(500ℓ)にすると40台分、"20トン"の量が必要。
- ・草刈りも小まめに行い、草丈を短くする。ただし土が露出しないよう注意する。

実践⑥ 防除

- ・梅雨時期の降雨は、収穫間近にいたずらをする事が多いため、間隔をあげずに防除する。

コギク(9月定植・来夏 出荷向け)
新規栽培者募集中

30年度8月盆の出荷をめざし、「コギク」の新規栽培者を募集しています。

量販店の需要向けをねらった栽培で、需要に対して供給量が不足し、これからまだまだ需要が伸びる注目の品目！定植は9月～10月のためこれから準備可能です。

栽培の特徴や方法を個別にご説明いたしますので、ご連絡をお待ちしております。このほかの花き品目につきましても、お気軽にご相談ください。



【コギク栽培の特徴】

- ・売り先(加工業者)を確保した値決め販売
- ・初期投資が少ない露地栽培
- ・初心者でも取り組みやすい
(目標:10アールあたり35,000本×30円)
- ・春苗づくりを省力化し、秋(9月～10月)に定植
- ・実需者が加工しやすい太さのコギク生産

お問い合わせ

営農部 営農指導課 tel.292-0930
塩野(全地区担当) tel.080-1193-0575
太田(大岡・信更) tel.090-2332-2601

農業機械センター
土・日・祝日の営業日程について

農業機械センターの8月上旬までの土・日・祝日の営業日程は次の通りです。

暑い日が続きます。農作業中の事故は十分気を付けて休憩を取りながらすすめましょう。

△ … 午前営業(8:30～12:00)

空欄 … 休業

	7月						8月					
	15	16	17	22	23	29	30	5	6	11	12	13
	土	日	月	土	日	土	日	土	日	金	土	日
篠ノ井	△		△		△		△		△		△	
川中島		△		△		△		△		△		△
松代			△			△			△			△
更北	△			△			△			△		
若穂		△			△			△				△
信田	△			△		△		△				△

お問い合わせ 各農業機械センター
篠ノ井農業機械センター tel.292-1369
信田農業機械センター tel.299-2225
松代農業機械センター tel.278-8601
川中島農業機械センター tel.284-1671
更北農業機械センター tel.283-5043
若穂農業機械センター tel.282-6025

今月号は、野菜づくりの中でも特に多くの方が挑戦する「夏野菜」について、作物別に管理のポイントをお届けします。

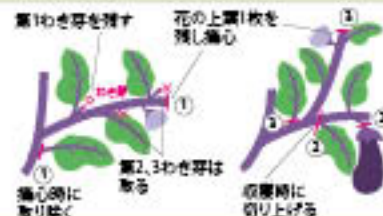
実践① ナス

追肥：肥料切れに注意

追肥は第1果の収穫直前に1回、その後2週間から20日間隔で、1株あたり、ひと握りを施す。ナスは肥料切れを起こしやすいため、注意が必要。花のめしべがおしべより短いものは栄養不足の印。早めに追肥を。



切り戻しせん定で樹勢維持へ



実践② キュウリ

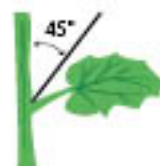
追肥：株が疲れやすいので、状態をよく見て適宜追肥を

①葉の先端確認



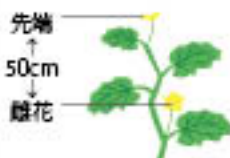
丸みを帯びて大きく垂れれば、チッソ過多
→ 追肥正解

②巻きヒゲ確認



45度の角度でピンと張り、伸び伸び
→ 追肥正解
細く短く先がまいたら肥料切れ
→ 追肥する

③つるの先端・雌花の長さ



50cmくらいなら適度
→ 追肥する
50cmより短ければ肥料切れ
→ 追肥する
50cmより長ければチッソ過多で、水分が多い
→ 追肥正解

キュウリの根は横に浅く伸びるので、それに合わせた場所にまきましよう。

子づるの摘芯

- ・節より下には実をつけない
- ・節から腰の高さには、実1本と葉2枚をつけて、その先を摘芯する
- ・腰より上の高さには、実2本と葉2枚をつけて、その先を摘芯する
- ・孫づるは放任する

実践③ トマト

追肥：全期間を通じて必要な分量をタイミングよく補う

①栄養過多状態 ②適度な栄養状態 ③栄養不足状態



葉面に凸凹ができ、葉が軽く下側に曲がる。葉の色も濃く、毛もよくなる。葉の太さは1~1.2cm。
→ 追肥正解

葉が軽く下側に曲がる。葉の色も濃く、毛もよくなる。葉の太さは1~1.2cm。
→ 追肥する

軸(葉柄)が細く、節間が短縮し、葉色が淡くなる。葉がハンザイするようになりY字形につく。
→ 追肥する

1回目の追肥の目安

第1段目の果実がピンポン玉ぐらいの大きさになった頃に1回目の追肥を行う。量は肥料成分によって異なるが、速効性の化成肥料であれば、ひと握り(約40g)が目安。ただし、草勢が強い状態であれば、追肥は見送る。

2回目以降の追肥

3回目・5回目・7回目と、奇数段の花が開いた頃を基準に、毎回同量程度を施す。ただし、草勢が弱いと判断すれば、4段や6段の開花期にも少量の追肥をする。常に先端付近の葉葉の状態を観察して施肥量を加減する。

摘 芯

つるの先端が支柱を越えそうになったら、最終花房の上に葉を2枚残して摘芯する。ただし、成長点は3つ残す。

実践④ ピーマン

追肥：生育期間が長いので、肥料切れに注意

1回目
花が盛んに咲き始めた頃、ひと握り(約40~50g)をまく。



2回目
収穫初めの頃、1回目の追肥より株元から離れた位置にまく。

3回目
2回目の追肥から半月おきを目安にマルチの際に肥料をやり、くわで通路の土を畝に寄せる。



追肥には「JAファームやさいの追肥」がオススメ!

追肥後、雨が降らない時にはどの作物も適宜かん水をお願いします



今月の担当
編集部 信田支所 稲佐 大田

短期・長期アルバイト大募集

各流通センター・共選所では、もも・りんごなどの選果・荷造りのお手伝いをしてくれる一般アルバイトを大募集しています！高校生・大学生・専門学生も大歓迎。
未経験でも大丈夫です！
ご希望の方は、お電話、または、直接ご希望先へおかけください。



仕事内容：もも・りんご等の選果・荷造り業務

資格：一般・学生(高校生以上)

勤務地：1～7参照

勤務時間：8:00～17:00(休憩1時間/実労働8時間)

※勤務終了時刻は日により変動有

給与：時給

【高校生】800円

【大学生】1,000円

【一般】780～830円

休日：週1回 ※ほか、休日のご相談に乘ります

※土・日・祝日勤務可能な方歓迎

応募方法：勤務を希望する流通センターへご応募ください

	勤務地名	勤務期間	住所	電話	担当
1	西部青果物流通センター	7月初旬～翌年1月	篠ノ井石川428	293-4668	佐藤
2	東部青果物流通センター	7月中旬～9月上旬	篠ノ井東福寺1940	292-0082	清水
3	川中島共選所	7月中旬～9月上旬	川中島町御厨895-3	284-4475	高橋
4	真島フルーツセンター	7月初旬～12月	真島町真島1451-1	285-3240	佐藤
5	若穂果実流通センター	7月初旬～12月	若穂川田字須田町240-1	282-2002	松坂
6	信更流通センター	8月中旬～翌年1月	信更町赤田681-1	299-2617	大矢
7	松代農産総合センター	9月上旬～12月下旬	松代町東寺尾裏畑3588	278-9595	神戸

※いずれも受付は9:00～16:00となります。

お問い合わせ 各青果物流通センター・共選所

7月23日(日) AC長野パルセイロ戦
“冠試合”開催

JAでは、7月23日(日)に南長野運動公園「Uスタジアム」で開かれる「2017明治安田生命J3リーグ第18節 AC長野パルセイロ vs FC琉球」の冠スポンサーとして協賛します。

JAと一緒に、AC長野パルセイロを応援しましょう!



©2008 PARCERO

日時：7月23日(日) キックオフ17時～

場所：南長野運動公園「Uスタジアム」

特別企画：◆来場先着600名様にネクタリン贈呈

◆抽選で100名様に「農産物セット」が当たる

お問い合わせ

総合企画部企画広報課 tel.293-2000

信州フラワーショー開催

当JA花き部会生産者が丹精込めて栽培した花々も並ぶ「信州フラワーショーサマーセレクション」にぜひお越しください!販売用の花もあります。

一般公開日：7月20日(木) 15:00～18:00

7月21日(金) 9:00～14:00

会場：JA長野県ビル「アクティールホール」

お問い合わせ 営農部 tel.292-0930

A・コープ夏の感謝祭開催

A・コープファーマーズ南長野野店開店4周年記念と、日頃のご愛顧に感謝を込めて、A・コープ3店共催の「A・コープ夏の感謝祭」を開催します!



日時：7月29日(土)・30日(日)

イベント：旬の農産物など特別価格販売

SBCラジオ公開生放送(ファーマーズ南長野店・29日13時～)

お問い合わせ

松代店 tel.290-6655

A・コープ ファーマーズ篠ノ井店 tel.290-7272

ファーマーズ南長野店 tel.214-8877

日本農業新聞購読受付中

日本農業新聞は日刊農業専門紙です。農家に「役立つ農業情報」から、消費者にも役立つ「食と農」の情報をお届けしています。当JAの情報も掲載されますよ!



購読料：1カ月2,623円 (税込)

お問い合わせ・購読申込み

営農部 tel.292-0930

営農資材センター または 各支所



ちよリス

ちよリスグッズがもらえる！ 一緒にお出かけ夏のキャンペーン <8月31日まで>

期間中、定期貯金等をご契約の方に、夏のお出かけに嬉しい「ちよリスグッズ」をプレゼントする「サマーキャンペーン2017」を開催しています。グッズはなくなり次第終了！お早めにどうぞ！

定期貯金
・預入金額10万円以上
・期間1年以上

定期積金
・満期12万円以上

各種ローン

JAカード

いずれも新規ご契約の方が対象

- 景品はなくなり次第終了となりますので、ご了承ください
- くわしくは、支所窓口へお問い合わせください



いずれかをご契約の方に
3つのうちお好きなものを
1個進呈！

お問い合わせ 各支所

第6回フォトコンテスト開催

JAでは、JAグリーン長野地域の「農業風景」をきり撮ろうをテーマに、今年もフォトコンテストを開催します。アマチュア・プロ問わず、どなたでも出品OK！みなさまの力作を、ぜひお送りください！

- 応募テーマ**：JAグリーン長野地域の「農業風景」をきり撮ろう
農業風景や農村、「農」にまつわる「食」「地域」「伝統」に関する季節感ある作品
- 応募部門**：春・夏・秋・冬（全4部門）
- 応募期間**：7月15日～2018年1月10日
- 賞金**：JAグリーン長野組合長賞・・・JAまごころ商品券5万円+賞状など、全20点を表彰
- 応募方法**：各支所やA・コープ店、HPの「応募用紙」に必要事項を記入いただき、郵送、または（株）長野フジカラー取次店「当JA本所（総合企画部）」へご持参ください
- 後援**：（株）長野フジカラー、PO印刷（株）
くわしくは、チラシ、またはホームページをご覧ください



お問い合わせ
総合企画部企画広報課
tel.293-2000

JAの動き

【理事会】 6月27日

- (1)役員報酬の決定について
- (2)ディスクロージャー誌の決定について
- (3)役員賠償責任保険の加入について
- (4)農業開発事業について
- (5)簡規程の変更について
- (6)グリーンフェスティバル2017について
- (7)地域農業振興積立金の利用について

【監事会】 6月21日

- (1)監事の報酬決定について
- (2)平成28年度末基準財務モニタリング報告及び監事意見について
- (3)平成28年度末基準体制整備モニタリング報告及び監事意見について
- (4)平成29年度監事監査計画書（確定版）について

【担当理事会】 6月21日

- 総務・金融**
- (1)5月末事業現況ならびに第1四半期決算の状況について
 - (2)A L M委員会報告について
 - (3)余裕金運用状況について

生産・経済

- (1)5月末事業現況ならびに第1四半期決算の状況について
- (2)農業開発事業について

【コンプライアンス（法令等遵守）への取り組み】

- 【第11回経営学習会】6月9日
- (1)情報資産の管理について
 - (2)平成28年度長野県JAバンク相談所 相談・苦情等受付状況について
- 【一般職コンプライアンス研修会】6月13日・14日・20日
- (1)平成29年度「JA長野県内部統制確立委員会事業計画」及び「JA長野県不祥事ゼロ運動行動計画」について
 - (2)反社会的勢力等への対応に関する基本方針について
 - (3)改正個人情報保護法を踏まえた「個人情報保護に関する規程類」の改定について
 - (4)DVD視聴研修（個人情報漏えい対策等）
 - (5)農協改革（JAグリーン長野自己改革）について
- 【経営会議】6月19日
- (1)内部統制確立プログラム（5月）の進捗状況並びに自主検査の取り組み結果について

新じゃが 甘辛もち



【材料】5〜6個分

- じゃがいも(新じゃが)
.....350g(Mサイズ2〜3個分)
- 片栗粉..... 大さじ2
- 揚げ油..... 適量
- A 砂糖..... 大さじ2
- しょうゆ..... 大さじ1
- みりん..... 大さじ1

【作り方】

- 1 じゃがいもは、洗って皮付きのままゆで、箸が通る固さになったら、火からおろし、やけどに気を付けながら、皮をむく
- 2 ①を粗めにつぶし、片栗粉を加えて練り、小半型にまとめる
- 3 揚げ油を熱し、②をきつね色になるまで揚げる。別のフライパンにAを煮立たせ、揚がった“もち”とからめてできあがり



女性部
大岡支部の
みなさん



【お料理メモ】

- 🍴 新じゃがは皮が薄いので、さっとむけます。他のシーズンは、皮をむいて切ってからゆでると良いですよ。
- 🍴 片手間でできますので、忙しい農繁期にもつくりやすく、おやつやおかずとして一品ふやせます。
- 🍴 お好みに、青のりやコーンを入れてもおいしいですよ。

